

# アセスメントに基づいた ASD者への構造化による支援

—BWAP2によるソフトスキルのアセスメントから—

○井出 春華 (早稲田大学大学院 教育学研究科  
修士課程 学校教育専攻)

梅永 雄二 (早稲田大学 教育・総合科学学術院 教授)

# I. 問題と目的

## 1. ASD者の特性と社会参加の課題 → 就労の困難性

コミュニケーション

上司・同僚との関係

就職

職場定着

ジョブ・マッチング

## 2. TEACCHの取り組み

★TEACCH School Transition to Employment and Post-Secondary Education Program: T-STEP ...  
16~21歳のASD者を対象とした地域の大学における支援プログラム

# I. 問題と目的

## 3. 必要な支援—ソフトスキルのアセスメント

仕事自体に関わる  
スキル



ハードスキル

就労生活に関わる  
スキル



ソフトスキル

難

# I. 問題と目的

★本研究ではTEACCH® Autism Programの  
T-STEPで使用されている

Becker Work Adjustment Profile(以下BWAPとする)を用い、  
ASD者の特性が就労上どの様な問題を呈しているのかを把握

本研究により…

構造化によるソフトスキル支援

特性理解・支援環境改善

安定した就労

## Ⅱ. 方法

BWAP2自体は  
15分程度で実施可

### 1. 対象者

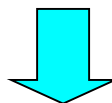
BWAPの対象年齢(12~69歳)内のASD者

①予備調査：

特例子会社,生活介護事業所,就労移行支援事業所,放課後等  
デイサービス,自動車教習所等の利用者12名にBWAP実施

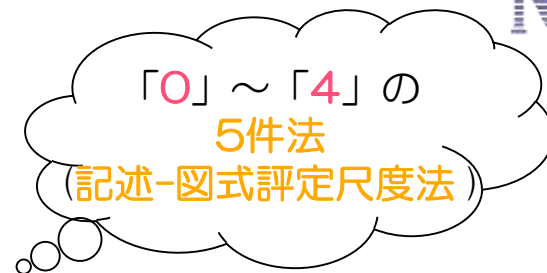
②本調査：

高等特別支援学校の生徒80名程度にBWAP実施



その内2名に構造化による介入を実施・再度BWAP実施

## Ⅱ. 方法



### 2. 手続き

BWAP2とは

★ベッカー職場適応プロフィール

(Becker Work Adjustment Profile: BWAP)...

知的障害の有る人を評価する為に開発された尺度の公開版

@オハイオ州コロンバス大学

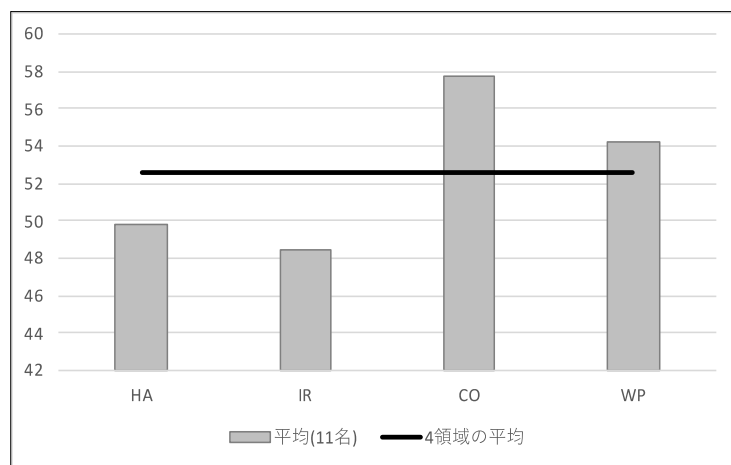
→BWAP2はこれが2005年に改定されたもの

- 性別に対して公平に作成・障害の程度に関わらず測定出来る
- 観察によるチェックリスト形式の評定尺度
- 職業コンピテンシー(仕事の習慣・態度・スキル)をアセスメント
- 知的障害(ID),学習障害(LD),情緒障害,経済的な困難,身体障害,脳性麻痺,自閉スペクトラム症(ASD),てんかん,脳損傷 etc. に対応

→ HA(勤務習慣/態度)・IR(対人関係)・CO(認知能力)・WP(職務遂行能力)・BWA(総合的職場適応)

## Ⅲ. 結果

### 1. 予備調査



粗点を  
Tスコアに換算し  
標準化したものの  
平均

\* 予備調査の対象者12名の内  
10代の1名は全体的に著しく  
低い結果を示した為  
それ以外の**11名**を**有意**とした

→★COは高くてもHAやIRが低い＝ソフトスキル領域が弱い

### 2. 本調査

予備調査の結果から

本調査においてもHAやIRが主たる困難として示される事が  
予想される (\* 本調査は2020年11月現在**実施中**)

## IV. 考察

### 1. ソフトスキル評価の必要性

＊従来の職業評価では

ソフトスキルの評価が為されていないかった

＊ASD者は独特なコミュニケーション様式・行動特徴を示す為、  
個人の特性・長所・嗜好を考慮した支援が有効である

＊今後は従来のアセスメントでは不十分であった実際の  
現場での様子の観察を通して評価をして行く必要が有る

### 2. 構造化に特化したアセスメント

＊BWAP2には構造化に必要なソフトスキルを観察する項目が  
含まれている

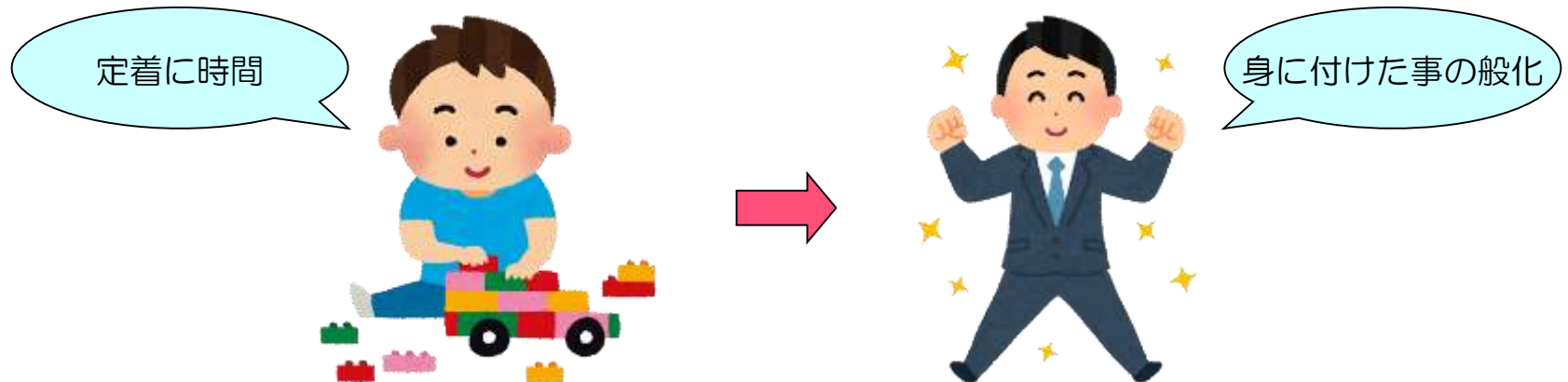
→今後知的障害を伴うASD者への構造化によるライフスキル・  
ソーシャルスキル支援は勿論,高機能ASDに対する  
構造化による就労支援にも広く活用出来る可能性が有る



## IV. 考察

### 3. 個別の支援目標

- \* 般化・応用が困難と言われる高機能ASD者にとっては **ジョブ・マッチング** が大きなポイントとなる
- \* その為、**幼児期から** 将来の自立を考えた **キャリア教育** をしておく事で、高機能ASD者が成人期に適切な仕事に就く事が出来るようになる
- **ハードスキル** や **ソフトスキル** 面での **課題** も **明確** になる
- その課題を基に **学校** で **教育目標** も設定出来るようになる



## IV. 考察

### 4. ASD者に特化した構造化

- \* ASD者には**特性に合致**した**構造化**が有効で、その為の**アセスメント**を丁寧に行う必要性が有る
- \* その点において**BWAP2**は**ソフトスキル**面の評価項目が充実している事や身近な**職場での支援者**が**評価者**となっている事等から有効なアセスメントツールであると言える
- \* 一方で**課題**も
  - 現在の就労機関は**知的障害者**を**中心**に支援されている事が多く、**高機能ASD**の支援の**専門性**が有るとは言えない
  - 今後はそういった**支援機関**に対して**研修**を行う必要が有り、**企業**に対してもBWAP2の結果を分かり易く**説明**して**コンサルテーション**等を行う必要が有る